

単元名 はじめの学しゅう

配当時間 2時間

単元の目標

(3) 常に正しい姿勢や用具の持ち方に気を付けて書こうとする。

標準的な展開例

02020101_001

【教材名】 文字を書くしせい／えんぴつのもち方 (P. 1～P. 9)

【準備等】 水書用筆，水書用紙，練習用紙

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1～2 正しい姿勢や用具の持ち方を確認し，いろいろな点画を書く。</p> <p>★正しい姿勢と用具の持ち方を確かめて書こう</p> <ul style="list-style-type: none"> ○第1学年のときの書写学習について話し合い，課題をつかむ。 ○正しい姿勢を確認する。 ○正しい用具の持ち方と使い方を確認する。 ○正しい姿勢と持ち方で，いろいろな点画を書く。 ○これからの書写学習のめあてを話し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・姿勢図の掛け図があれば，常掲するようにする。 ・教科書P. 2の写真で，正しい姿勢をとった後「よいしせいの合いことば」を唱えさせて，一つ一つを確認させる。 ・「えんぴつのもち方の合いことば」を唱えながら，持ち方の練習をさせる。 ・鉛筆を持ったとき，親指と人差し指に力が入りすぎないように注意させる。 ・正しい姿勢や持ち方で書くと「長時間書いても疲れにくい」という点も強調する。 ・教科書P. 8～P. 9の挿絵を使用し，点画の書き方を唱えながら書かせるようにする。 ・二人組になり，互いに書いているときの姿勢や鉛筆の持ち方を確認させる。 ・水書用筆を使用して，点画を書くときの力の入れ方を体感させるとよい。 【評】 いろいろな点画を書く活動を通して，「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。 ・教科書を概観した後，教科書P. 1の「学しゅうのめあて」を読み，第2学年の目標を確認させる。

【 備 考 】